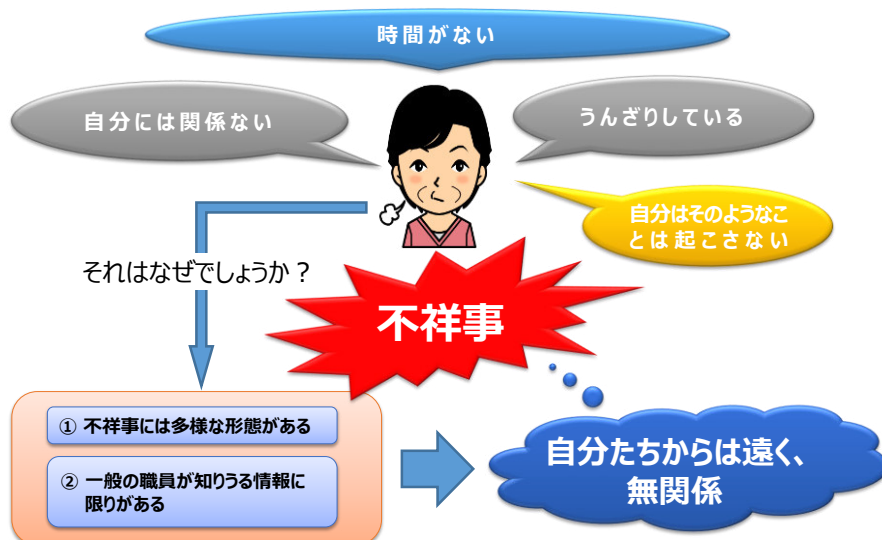


# 教職員の不祥事防止に向けた 新たな研修プログラム

## 第1回 不祥事の類型化による当事者意識の醸成

岡山県教育委員会

### 不祥事防止研修の受け止め方

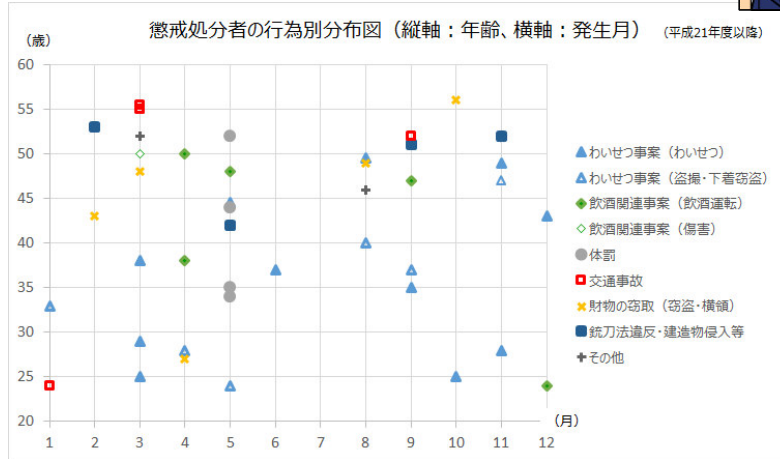


岡山県教育委員会

# 不祥事は決して私たちと縁遠いものではありません

誰でもいつでも当事者になり得る可能性がある

すべての年代で、様々な行為の不祥事が発生しています



岡山県教育委員会

## 不祥事を行為別に見てみると…

大分類	小分類	具体的事案
わいせつ事案	わいせつな行為	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属校の児童生徒に、ホテル等でわいせつな行為を行った。</li> <li>・ 同僚等へ性的な発言をしたり、体を触ったりするセクハラ行為を行った。</li> <li>・ 県外の18歳未満の少女と関係を持った。</li> <li>・ 公園や路上で自身の下半身を見せた。</li> </ul>
	盗撮・下着窃盗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネットを通じて、18歳未満の男女の裸の画像を集めた。</li> <li>・ 所属校の児童生徒に対し、更衣室に隠しカメラを設置したり、胸元をタブレット端末で盗撮した</li> <li>・ 所属校の教員の更衣室を盗撮した。</li> <li>・ 好意を持つ女性宅に侵入し、下着を盗もうとした。</li> <li>・ 商業施設で、靴に隠した小型カメラでスカートの中を盗撮した。</li> </ul>
飲酒関連事案	飲酒運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会合で飲酒した翌朝運転したところ、検挙された。</li> <li>・ 会合での飲酒後、自宅までの距離が短いこともあり大丈夫だろうと思って運転したところ検挙された。</li> </ul>
	その他の飲酒トラブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲酒した会合の帰りに、言い争いになって人を小突いた。</li> <li>・ 飲酒した会合の帰りに、勝手に倉庫に入ったところ所有者に見付かって、取っ組み合いになった。</li> </ul>
体罰		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体罰は指導に有効だと考え、普段から行っていたが、あるとき行った体罰が大きすぎたに至った。</li> <li>・ 生徒の暴言に対し、衝動的に殴った。</li> </ul>
交通事故		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急いでいたので一旦停止を怠り、交差点で二輪車をはねた。</li> <li>・ 交差点で二輪車と接触したので止まって確認したが、相手が大丈夫というので警察への届出をしなかった。</li> <li>・ 交差点で二輪車と接触したが、怖くなって逃げた。</li> </ul>

岡山県教育委員会

大分類	小分類	具体的事案
情報関連事案	USBメモリの紛失等	・皆やっており、自分も大丈夫だという考えで、自宅で作業するため許可なく生徒の個人情報が入ったUSBメモリーを持ち帰り、紛失した、あるいは盗難に遭った。 ・教室に置き忘れた成績表等が生徒により撮影され、LINE等で流出した。
	中傷情報の拡散	・所属職員のわけつな写真を作成し、各地にばらまいた。 ・自校の保護者等を名乗り、故意に誇張したり、虚偽の内容を含めた情報を拡散した。
財物の窃取	窃盗・万引	・スーパーで食料品を万引し、逃げる際に警備員を殴った。 ・パチスロ店で、遊技台に差し込まれていたICカードを持ち帰った。
	公金横領・手当の不正受給	・学校徴収金を私的に流用した。 ・虚偽の届出により、通勤手当を不正に受給した。
その他	事務処理遅滞・文書偽造	・請求書をため込んでおり、支出事務が遅滞した。 ・不正に公印を押印した書類を提出した。
	銃刀法違反	・銃刀法違反となる準空気銃や刀剣類を所持していた。 ・トラブルとなったときに、ナイフを取り出し相手に見せた。
	建造物侵入	・他人の住居をのそくなどの行為を繰り返し行った。
	ストーカー関連	・元配偶者の実家に侵入し、器物を損壊した。
	薬物事犯	・自宅で大麻を栽培した。 ・インターネットで指定薬物を含む危険ドラッグを購入し、所持していた。
	ドローン等機器	・自己所有のドローンを、飛行禁止区域で飛行させた。
	賭博	・違法賭博を行った。

岡山県教育委員会

## 不祥事の行為別分類を読んで

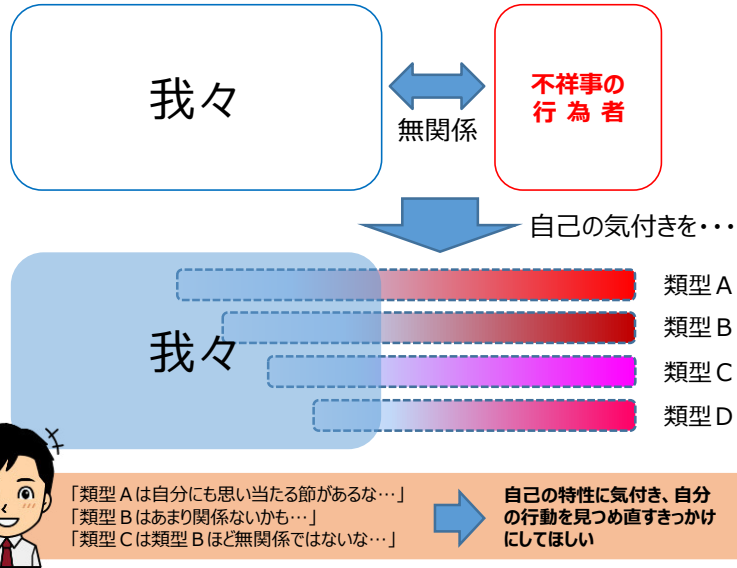
Q1. 自分に関係しそうな不祥事がありますか。

- ない
- ある

⇒それはどのような事案でしょうか。

岡山県教育委員会

## 類型化による当事者意識の醸成



岡山県教育委員会

### これまでの分類は・・・

- ・ わいせつ事案
- ・ 飲酒関連事案
- ・ 体罰
- ・ 情報漏えい など

### 行為別に分類

「わいせつ事案は自分には関係ない」  
「不祥事は特別な人が起こすこと」など、自分のこととしてとらえにくい。

### 新たな視点による分類では・・・

- ・ 学習不足型（知らなかった型）
- ・ 自己中心型（これぐらいなら型）
- ・ 確信犯型（わかってやっている）
- ・ 合理化型（その場しのぎ型・破れかぶれ型・パニック型）
- ・ 衝動型（短絡型）

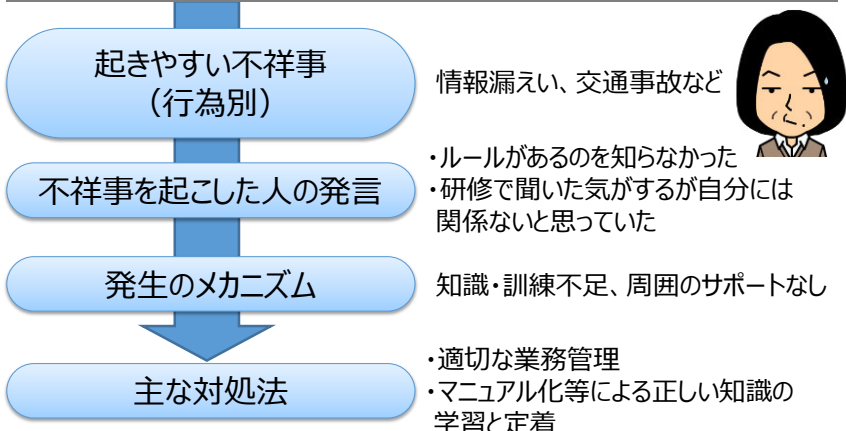
### 原因別に分類

不祥事を引き起こす原因や傾向に踏み込み、類型化して示すことで、「自分にも思い当たる節がある」ことに気付いてほしい。

岡山県教育委員会

## 原因別分類からのアプローチ

### 学習不足型（知らなかった型）



自己の気づきを促し、類型毎の留意点も理解する

岡山県教育委員会

## 新たな研修プログラムの構成と研修について

### ステップ1 不祥事の類型化による当事者意識の醸成

不祥事を原因別に類型化し、その視点からアプローチすることで、身近なものとして捉え、自己を振り返り、特性への気づき、行動の見つめ直しの契機とする。

今日の研修は  
ここです



### ステップ2 一体的な不祥事防止対策の理解

行為別と原因別の複数の類型から不祥事を立体的に捉え、有効な対処法を考察するとともに、不祥事防止対策の一体的な取組プロセスを理解する。

第2回  
予定

- 一体的な不祥事防止対策
- ・1次予防（未然防止）
  - ・2次予防（変化の兆候への気づき・早期対処）
  - ・3次予防（再発防止）

### ステップ3 事例研究による対処法の習得

具体的な事例を、グループ協議やロールプレイング等を通して研究し、不祥事への認識を深め、具体的な対処法を身に付ける。

順次  
配付  
予定

岡山県教育委員会

## 不祥事の原因別分類表を確認しましょう

学習不足型 (知らなかった型)	自己中心 (自分特別視)型 (これぐらいなら型)	確信犯型 (わかってやって いる型)	合理化型 (その場しのぎ型 破れかぶれ型 パニック型)	衝動型 (短絡型)	飲酒・習慣的飲酒 の影響
					

### 原因別に不祥事を見ていくと…

どのような不祥事が起こっているのか…

不祥事を起こした当事者の発言は…

不祥事発生のメカニズムや対処法は…

岡山県教育委員会

## 自分自身を振り返ってみましょう

Q2.「原因別分類表」の中で、自分の性格・特性を踏まえて、自分に近いものがありましたか。

ない

⇒なぜ、そう考えましたか？

ある

⇒どんなタイプでしたか？

⇒なぜ、そう考えましたか？

Q3.自分が不祥事を起こさないようにするために、自分の性格・特性に鑑みて、どのような点に気をつけていこうと思いますか。

Q4.自分の所属から不祥事を起こさないために、同僚等の他者に対して、どのようにアプローチしていく方法が考えられますか。

Q5.今回の不祥事防止研修を受講して、何か自分の気付きなどがありましたか。

岡山県教育委員会

**\*\*\* 作成協力 \*\*\***

岡山県教職員不祥事防止対策チームアドバイザー

塚本 千秋（岡山大学大学院教育学研究科 教授）

平 伸二（福山大学人間文化学部 学部長・教授）

資料提供

田口 真二（熊本県警察本部刑事部科学捜査研究所管理官）

参考資料

E・ゼーリッヒ、K・ワインドラー（共著）『犯罪者の類型』（1949）

## 不祥事の種類（行為別分類表）

大分類	小分類	具 体 的 事 案
わいせつ事案	わいせつな行為	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属校の児童生徒に、ホテル等でわいせつな行為を行った。</li> <li>・同僚等へ性的な発言をしたり、体を触ったりするセクハラ行為を行った。</li> <li>・県外の18歳未満の少女と関係を持った。</li> <li>・公園や路上で自身の下半身を見せた。</li> </ul>
	盗撮・下着窃盗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを通じて、18歳未満の男女の裸の画像を集めた。</li> <li>・所属校の児童生徒に対し、更衣室に隠しカメラを設置したり、胸元をタブレット端末で盗撮した</li> <li>・所属校の教員の更衣室を盗撮した。</li> <li>・好意を持つ女性宅に侵入し、下着を盗もうとした。</li> <li>・商業施設で、靴に隠した小型カメラでスカートの中を盗撮した。</li> </ul>
飲酒関連事案	飲酒運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会合で飲酒した翌朝に運転したところ、検挙された。</li> <li>・会合での飲酒後、自宅までの距離が短いこともあり大丈夫だろうと思って運転したところ検挙された。</li> </ul>
	その他の飲酒トラブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒した会合の帰りに、言い争いになって人を小突いた。</li> <li>・飲酒した会合の帰りに、勝手に倉庫に入ったところ所有者に見付かって、取っ組み合いになった。</li> </ul>
体罰		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体罰は指導に有効だと考え、普段から行っていたが、あるとき行った体罰が大きくなげに至った。</li> <li>・生徒の暴言に対し、衝動的に殴った。</li> </ul>
交通事故		<ul style="list-style-type: none"> <li>・急いでいたので一旦停止を怠り、交差点で二輪車をはねた。</li> <li>・交差点で二輪車と接触したので止まって確認したが、相手が大丈夫というので警察への届出をしなかった。</li> <li>・交差点で二輪車と接触したが、怖くなって逃げた。</li> </ul>
情報関連事案	USBメモリの紛失等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆やっており、自分も大丈夫だという考えで、自宅で作業するため許可なく生徒の個人情報の入ったUSBメモリーを持ち帰り、紛失した、あるいは盗難に遭った。</li> <li>・教室に置き忘れた成績表等が生徒により撮影され、LINE等で流出した。</li> </ul>
	中傷情報の拡散	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属職員のわいせつな写真を作成し、各地にばらまいた。</li> <li>・自校の保護者等を名乗り、故意に誇張したり、虚偽の内容を含めた情報を拡散した。</li> </ul>
財物の窃取	窃盗・万引	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーで食料品を万引し、逃げる際に警備員を殴った。</li> <li>・パチスロ店で、遊技台に差し込まれていたICカードを持ち帰った。</li> </ul>
	公金横領・手当の不正受給	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校徴収金を私的に流用した。</li> <li>・虚偽の届出により、通勤手当を不正に受給した。</li> </ul>
その他	事務処理遅滞・文書偽造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・請求書をため込んでおり、支出事務が遅滞した。</li> <li>・不正に公印を押印した書類を提出した。</li> </ul>
	銃刀法違反	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銃刀法違反となる準空気銃や刀剣類を所持していた。</li> <li>・トラブルとなったときに、ナイフを取り出し相手に見せた。</li> </ul>
	建造物侵入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人の住居をのぞくなどの行為を繰り返し行った。</li> </ul>
	ストーカー関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元配偶者の実家に侵入し、器物を損壊した。</li> </ul>
	薬物事犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅で大麻を栽培した。</li> <li>・インターネットで指定薬物を含む危険ドラッグを購入し、所持していた。</li> </ul>
	ドローン等機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己所有のドローンを、飛行禁止区域で飛行させた。</li> </ul>
	賭博	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違法賭博を行った。</li> </ul>



新たな視点による不祥事の種類 (原因別分類表)

類型	学習不足型 (知らなかった型)	自己中心 (自分特別視)型 (これぐらいなら型)	確信犯型 (わかってやっている型)	合理化型 (その場しのぎ型) 破れかぶれ型 パニック型	衝動型 (短絡型)	飲酒・習慣的飲酒の 影響
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>その行動の及ぼす結果への学習ができていない、学習したが定着していない、あるいは学習しようとしていないタイプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「相手に害を与えたわけではない」のように被害者感情を軽視しているタイプ</li> <li>「つい…」とか「これぐらいならよかろう。」と相手や組織への被害を考慮することができない、自己中心的思考を持つタイプ</li> <li>一般的にはよくないことかもしれないが、自分には認められていると思って行うタイプは「自分特別視型」という言い方もできる。</li> <li>※様々なタイプが混在していると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪いことだと思いつつも、問題意識が極端に低く、啓発や集団研修を受けても「やったらだめだ」という警告意識が作動しないタイプ</li> <li>もともと継続性のある場合と、飲酒、疾病等の影響がある場合とに分けられる。</li> <li>※当初別のタイプだったものから移行するケースも見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>葛藤状況を回避・逃避するために、自分を正当化しながら選択した行動が、問題行動だったというタイプ</li> <li>更に次のような分類ができる。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①その場しのぎタイプ 不道徳な行動でその場をしのぐ場合</li> <li>②安易・無思考タイプ 安易な方法で自分を保つ場合</li> <li>③パニック・思考停止タイプ パニックになって訳が分からなくなっている場合</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>怒りなどの感情から、短絡的に反応した行動を取るタイプ</li> <li>攻撃性の分類として、「戦略的攻撃性」(指導のために厳しく当たる行動)と「衝動型攻撃性」(相手の行為に対し短絡的にその場で行う攻撃)とに分けられるが、後者がこのタイプに該当する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒は脳に影響を及ぼし、その結果、行動に多大な影響が及ぶ。したがって、全てのタイプに影響が上乘せされる。</li> <li>衝動が顕在化</li> <li>大目に見てもらおうという期待</li> <li>勘違いや失念</li> </ul>
行為別分類の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務処理の遅滞、書類紛失等</li> <li>わいせつ事案(生徒指導やネット上の事案に関する知識・経験不足)</li> <li>飲酒運転・飲酒トラブル(アルコールに関する知識・注意不足)</li> <li>交通事故(道交法等に関する知識不足)</li> <li>USB紛失等による情報漏えい(セキュリティポリシー等への理解・注意不足)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わいせつ事案</li> <li>のぞき・盗撮</li> <li>同僚、児童生徒、保護者等に対するセクハラ</li> <li>体罰(戦略的)</li> <li>交通違反や交通違反に端を発する事故</li> <li>USB紛失等による情報漏えい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性犯罪・性暴力</li> <li>薬物事犯</li> <li>飲酒運転</li> <li>窃盗・横領</li> <li>ストーカー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暴力事件(過剰防衛)</li> <li>手段を選ばない逃亡(万引のあと警備員殴打、事故のあと逃走など)</li> <li>窃盗・横領(経済的困窮によるもの)</li> <li>中傷情報の拡散</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体罰</li> <li>暴力事件</li> <li>中傷情報の拡散</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酒に酔っつてのセクハラ</li> <li>わいせつな行為</li> <li>暴力事件等</li> <li>飲酒運転</li> </ul>
当事者の事後の発言による分類	<p>「そのようなルールがあることを知りませんでした。」</p> <p>「知ってはいたしましたが、まあいいかで済ませていました。」</p> <p>「研修会で聞いた気がしますが、自分には関係ないと思っていました。」</p>	<p>「これぐらいならよかろうと思っていました。」</p> <p>「相手に危害を加えているわけではないから構わないと思っていました。」</p> <p>「露見することはないだろうと思っていました。」</p> <p>「普段はそんなことは考えないのに、つい、思い付いてそうしてしまいました。」</p>	<p>「最初は『やってはいけない』と思いましたが、繰り返すうちにやみつきになりました。」</p> <p>「捕まるかもしれない、大ごとになるかもしれない、と思いつつもやめられませんでした。」</p> <p>「頭では分かっている、気持ちと言葉を聞きませんでした。」</p>	<p>「捕まりたくなかったので、殴ってでも逃げようと思いました。」</p> <p>「金銭的に苦しかったので、金を早く工面したいと思ってやりました。」</p> <p>「いつの間にかそうしていました。理由もよく分かりません。」</p> <p>「頭が真っ白になって、気付いたら家に着いていました。」</p>	<p>「生徒にこんなことを言われて、ついカッとなってやってしまいました。」</p> <p>「〇〇(相手)のことがどうしても許せませんでした。」</p>	<p>「はっきりと思い出させませんが、お前がやったんだと言われるのなら、私がやったんだと思います。」</p> <p>「自分では飲み過ぎたつもりはありませんでしたが、今思えばなぜあのような行動を取ったのか、後悔しかありません。」</p>
発生メカニズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識・訓練・経験不足、不注意、周りのサポートの欠如</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害はない、自分は悪くない、相手が悪いという自己中心的思考</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人が有する資質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機から身を守ろうとする防衛反応の一種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>怒りからの短絡反応</li> <li>怒りがうっ積して爆発する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒に伴う脳への影響により、人格や行動のコントロールを失う。</li> </ul>
主な対処法	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な業務管理</li> <li>取扱手順等のマニュアル化等を通じて、正しい知識を学習し、定着させること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害者感情に思いを至らせることによる罪意識の醸成</li> <li>刑罰や社会的制裁など、責任の重さの学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の対応(管理職・同僚の関わり等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機やストレスへの適切な対処法</li> <li>個別の対応(管理職・同僚の関わり等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>怒りのコントロール法の学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒の仕方のコントロール</li> <li>周囲のサポート</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の整備(校内ルールの策定・周知・徹底、施設・設備の整理・整備、相談窓口等の設置・周知)</li> <li>同僚・管理職等の気付き・関わり</li> </ul>						

※配付研修資料から一部抜粋しています。

\*\*\*「不祥事の類型化による当事者意識の醸成」 自己振り返りシート\*\*\*

このシートは自己の気づきや振り返りに用いるものであり、受講者同士で交換したり、所属長やコンプライアンス推進員に提出するものではありませんので、自分の気持ちを率直に記入してください。なお、項目5については、所属の実情に応じて、内容に関してグループ協議を行うことがあります。

1 「行為別分類表」を参照し、この中から、自分に関係しそうな不祥事がありますか。

- ない
- ある  
⇒それはどのような事案でしょうか。

2 「原因別分類表」の中で、自分の性格・特性を踏まえて、自分に近いものがありましたか。

- ない  
⇒なぜ、そう考えましたか？
- ある  
⇒どんなタイプでしたか？  
  
⇒なぜ、そう考えましたか？

3 自分が不祥事を起こさないようにするために、自分の性格・特性に鑑みて、どのような点に気をつけていこうと思いますか。

4 自分の所属から不祥事を起こさないために、同僚等の他者に対して、どのようにアプローチしていく方法が考えられますか。

5 今回の不祥事防止研修を受講して、何か自分の気づきなどがありましたか。